

<b>Title</b>	第9回ピア・スーパービジョン：人間福祉スーパービジョンセンター(総合研究所 News)
<b>Author(s)</b>	聖学院大学総合研究所
<b>Citation</b>	聖学院大学総合研究所 Newsletter, Vol.22-No.1, 2012.9 : 32-34
<b>URL</b>	<a href="http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/reps/modules/xoonips/detail.php?item_id=3991">http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/reps/modules/xoonips/detail.php?item_id=3991</a>
<b>Rights</b>	



聖学院学術情報発信システム：SERVE

SEigakuin Repository and academic archiVE

# 総合研究所 News

## 人間福祉スーパービジョンセンター 第9回 ピア・スーパービジョン

ピア・スーパービジョンとは保健・福祉現場などで対人援助の仕事をしている人たちが、同じ悩みや課題を持つ者として語り合い、日々の業務を見直すための研修交流会である。今回のプログラムは本学人間福祉学科卒業生を中心とした福祉のネットワークSWnet（Seigakuin Welfare Net）の企画による。

日時 2012年2月25日（土）13：20～16：40

場所 聖学院大学4号館4階第一会議室

### —プログラム—

#### 開会の挨拶

助川征雄（聖学院大学人間福祉学科長）

#### 第一部

##### ピア・スーパービジョンとは？

助川征雄 前掲

##### 卒業生からの報告

宮崎和香 障がい者就労支援センター  
99W

奈良部清香 地域活動支援センター  
105W

青木優子 地域包括支援センター  
100W

山谷謙介 病院 105W

#### 第二部

##### ピア・スーパービジョン

2つの無作為なグループに分かれての自由討議

##### 全体共有

各グループの発表

##### コメント

田村綾子 聖学院大学人間福祉学科准教授

#### 総括

柏木昭 聖学院大学総合研究所名誉教授

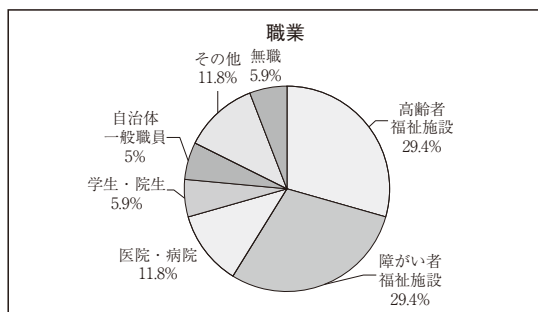
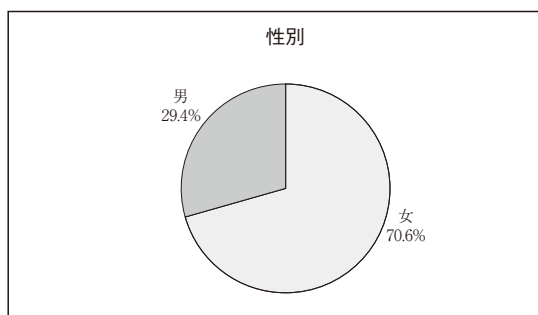
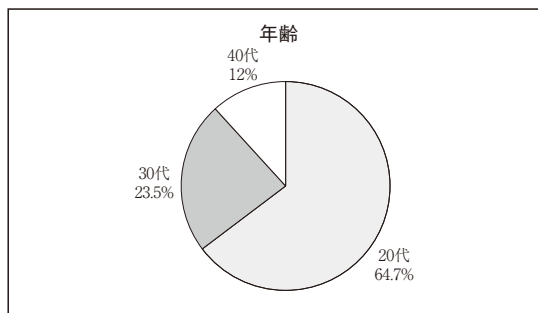
#### 閉会挨拶

中村磐男 聖学院大学大学院人間福祉学  
研究科教授

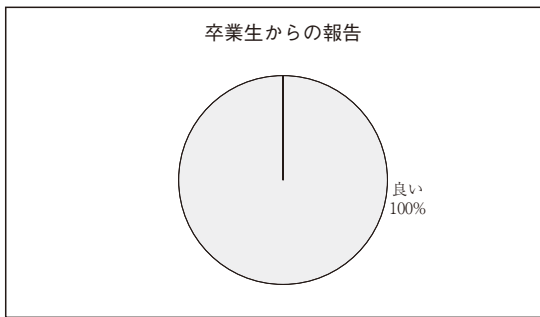
司会 山田裕太（聖学院大学人間福祉学科  
2001年度卒業）

### 1. あなたのプロフィールについて

\*参加者19名のうち17名から回答があった。

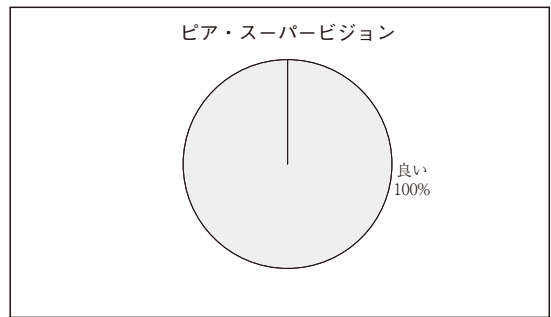


## 2. 卒業生からの報告



- ・福祉の現場で働く方の話は、共感することも多く、同じようにつらく感じます。じっくり報告を聞くことができるので、他の職場の様子がわかったよかったです。
- ・あれも同じ、これも同じ、というように共感できる部分が全部で、発表全体で共通のテーマがあつての発表であつたように感じました。
- ・現場は違うけれど、悩みが同じと分かると、悩むことは悪いことではないと思えました。
- ・さまざまな施設の方の思い、悩みがきちんと表れていて大変よかったです。
- ・独りではないんだと感ずることができました。
- ・ステキなワーカーがたくさんいて、そのような人たちに出会えてよかったです。
- ・ご自分のことがよく分かっている方々ですごいなあと感ずるばかりでした。
- ・私もそうだったと共感できるお話が聞けてよかったですと思います。
- ・実体験をお聞きできて共感でき、すごくよかったです。
- ・大変な思いを乗り越えてきたこと、共感できることが多かった。
- ・私はPSWとして現場で働いた経験はまだありませんが、現場で働く方からの生の声（悩み、問題、考えなどさまざまな思い）を聞くことができ、仕事へのイメージがわきやすくなりました。ネットや情報誌などではわからないことを聞くことができたと思います。
- ・現場の生の声が聞けて、不安要素が少し強くなりましたが、先輩方の体験談を参考にして、これからがんばっていきたいと思いました。
- ・大変勉強になりました。

## 3. ピア・スーパービジョン



- ・素直な気持ちで話せる場は本当に必要だと思いました。
- ・ワーカー1人で働く方が“気持ちを吐き出す場”ができてよかったですと思います。たとえ解決はしなくても、この場があるないでだいぶ変化があると思いました。
- ・先輩の乗り越えた経験の話が聞けてよかったです。発信して受け入れてもらえ、別の視点で話していただけるプロセスでまた気づきを得られてよかったです。
- ・今、自分の悩みに対して客観的に見つめることができた。
- ・少人数であつたため話しやすく、ランダムグループ分けであつたが、全く違和感がなかつた。
- ・初めて会う方もいるので、打ち明けて話をしていくには少し時間がかかるようです。時間が足りないとも思いました。自分の話をすることができて満足しています。
- ・4人という人数でゆっくり発言ができよかったです。
- ・いろいろな話ができよかったですと思います。



柏木昭 聖学院大学総合研究所名誉教授

- ・どんな話になるか心配でしたが、すごく参考になった。
- これから社会に出て福祉の仕事をする中で、役に立つことをたくさん教えていただけてよかったです。
- ・これからも参加したいです。

#### 4. 自由意見

- ・PSVの機会を作っていただきありがとうございました。職場でもこういう場をつくれるようにできたらなと思います。ここでの気づきをまずは身近な人に発信することから始めたいです。
- ・自分の気持ちを確認する良い機会になりました。ありがとうございました。
- ・悩みがどうしてもなく大変になる前には助けを求めさせていただきます。
- ・また参加したいと思います。いろいろな職場の悩み、そしてその解消の方法がよくわかりました。
- ・せっかく広い会場を使っているのに、たくさんの方が来場してくれたらいいなと思った。卒業生以外の方もいらしてくれているので、仕事の話をすることができてよかった。柏木先生からご助言をいただき励みになりました。現場に早く帰って取り組んでみたいです。
- ・続けていただいて感謝するとともに、今後とも続けていただければと思います。第8回も参加したいと思います。ありがとうございました。
- ・大変ためになりよかったです。
- ・また参加したいです。
- ・人数が少なく残念。

